

発行者 観 点	2・東書	4・大日本	11・学図	17・教出	61・啓林館	104・数研	116・日文
<b>取扱内容</b>  学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<b>○ 数と式の領域における連立方程式の導入場面（第2学年）</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>りんごとオレンジの値段を求め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真と封筒の重さを求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンバーガーとジュースの値段を求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2点と3点シュートの本数を求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆とノートの値段を求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3点と2点のペルマークの枚数を求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3点と1点のカードの枚数を求める</li> </ul>
	<b>○ 図形の領域における平行移動、対称移動及び回転移動の場面（第1学年）</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同な三角形を敷き詰めて描かれた模様から2つの三角形に着目して移動の意味を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な模様「麻の葉」を観察し、合同な図形を重ねる動かし方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な模様「麻の葉」を観察し、合同な図形を重ねる動かし方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同な図形を敷き詰めて描かれた模様から2つの図形に着目して移動の意味を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙を折り、はさみを入れて作った矢印の形を観察し合同な図形を重ねる動かし方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同な三角形を敷き詰めて描かれた模様を観察し合同な図形を重ねる動かし方を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な模様「麻の葉」を観察し、合同な図形を重ねる動かし方を考える</li> </ul>
	<b>○ 関数の領域における関数<math>y=ax^2</math>として捉えられる二つの数量の変化や対応の特徴を見だし、考察する場面（第3学年）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキージャンプの滑り降りた時間と距離の関係を表、式、グラフで調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある自動車の速さと制動距離の関係を表、式、グラフで調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べる</li> </ul>	
<b>○ データの活用の領域におけるデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する場面（第1学年）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>1500 m 走の記録を収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さの感覚のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ルーラーキャッチ」のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つのルートの所要時間のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙を落としたときの滞空時間のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの市の最高気温の50日分のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知市の3月の平均気温のデータを収集しヒストグラムなどを用いて分析する</li> </ul>	
<b>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応（第2学年）</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダーの数の囲み方と囲んだ数の和の性質について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>星形の図形の角の和を求める方法について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くじを引く順番と当たりやすさについて考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷枚数と印刷料金の関係について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔に比べて気温が高くなっているかについて考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外角の和を求め式について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>くじを引く順番と当たりやすさについて考える</li> </ul>	
<b>内容の構成・排列、分量等</b>	<b>○ 系統的・発展的に学習できる工夫（第3学年）</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、因数分解の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、因数分解の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、因数分解の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、因数分解の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使って平方根を含む式を計算する学習の後に、因数分解の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現する問題</li> </ul>
<b>○ 内容の分量</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 309ページ(7%増)</li> <li>第2学年 247ページ(7%増)</li> <li>第3学年 281ページ(2%増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 311ページ(0%増)</li> <li>第2学年 241ページ(2%減)</li> <li>第3学年 293ページ(3%減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 299ページ(1%増)</li> <li>第2学年 255ページ(7%増)</li> <li>第3学年 295ページ(0%増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 318ページ(3%増)</li> <li>第2学年 270ページ(9%増)</li> <li>第3学年 297ページ(1%増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 331ページ(1%増)</li> <li>第2学年 259ページ(1%減)</li> <li>第3学年 315ページ(6%減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 352ページ(28%増)</li> <li>第2学年 296ページ(32%増)</li> <li>第3学年 360ページ(29%増)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年 308ページ(6%増)</li> <li>第2学年 248ページ(4%増)</li> <li>第3学年 288ページ(3%増)</li> </ul>	

発行者 観 点	2・東書	4・大日本	11・学図	17・教出	61・啓林館	104・数研	116・日文
使用上の配慮等	<b>○ 学習意欲を高める工夫</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びをふり返ろう」で問題解決の過程を振り返る</li> <li>「学びをひろげよう」で実社会とのつながり</li> </ul>						
	<b>○ 主体的に学習に取り組む工夫</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「数学的活動(Q)」で論理的な思考力</li> <li>「章とびら」で学習への動機付け</li> </ul>						
	<b>○ 使用上の便宜</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノートを使い方を例示</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> </ul>						
指導上の配慮等	<b>○ 地域素材</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>函館山のロープウェイの問題が設定されている(第3学年)</li> <li>北海道に関わる文字や数値、写真が扱われている(第1,3学年)</li> </ul>						
	<b>○ ICTの活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「D マーク」で図形を動かすシミュレーションや実験映像などを掲載している</li> </ul>						
	<b>○ 小中連携した指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭目次の「前の学習」で小学校との関連が分かる</li> <li>本文中の「ちょっと確認」や巻末の「算数の確認」で小学校のつまずきを確認できる</li> </ul>						

発行者 観 点	2・東書	4・大日本	11・学図	17・教出	61・啓林館	104・数研	116・日文
本市生徒の学習 の状況等	<p>○日常生活や社会で数学を活用する態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びをひろげよう」で数学と実社会や職業とのつながりを実感できる</li> <li>「深い学びのページ」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「社会にリンク」や「MATHFUL」で数学と実社会や職業とのつながりを実感できる</li> <li>「課題学習」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「役立つ数学」や「数学の力」で数学と実社会とのつながりを示している</li> <li>「深めよう」や「疑問を考えよう」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「章のとびら」や「数学メモ」で数学と実社会や職業とのつながりを実感できる</li> <li>「学んだことを活用しよう」や「数学の広場」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学ライブラリー」で数学と実社会とのつながりを示している</li> <li>「学びをいかそう」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学旅行」で数学と実社会のつながりを示している</li> <li>「TRY」や別冊の「探究ノート」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学のたんけん」や「数学を仕事に生かす」などで実社会や職業とのつながりを実感できる</li> <li>「身近なことから」や「学び合おう」で日常生活や社会の事象に関連する問題を設定している</li> </ul>
	<p>○数学的な表現を用いて説明し、振り返って考えを深めることができる力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を「虫めがねマーク」で明示し、「大切にしたい見方・考え方」で例示している</li> <li>本文中の「学びをふり返ろう」や「活用の問題」、「数学の自由研究」で記述式の問題を設定したり、考えをまとめさせたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を「数学の世界へようこそ」で分りやすくまとめ、「考えよう」で引き出している</li> <li>本文中の「判断しよう」や「伝えよう」、章末の「学びのふり返り」で記述式の問題を設定したり、考えを記述させたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を「!マーク」で明示し、「見方・考え方をまとめよう」で分りやすくまとめている</li> <li>「数学的活動のページ」や章末の「さらに学んでみたいこと」で記述式の問題を設定したり、考えを記述させたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を「数学的な考え方」で本文中に明示したり、巻頭に分りやすくまとめたりしている</li> <li>本文中の「みんなに説明しよう」、章末及び巻末の「学習のまとめ」などで記述式の問題を設定したり、考えを記述させたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を「虫めがねマーク」で引き出している</li> <li>本文中の「説明しよう」や「まとめよう」で、根拠を明らかにして筋道立てて説明させたり、こせたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を本文中のキャラクターによる「対話形式」で働かせている</li> <li>別冊の「探究ノート」で記述式の問題を設定したり、授業をふり返って気付いたことを記述させたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見方・考え方を本文中の「大切な見方・考え方」で明示し、意識付けている</li> <li>章末の「説明できるかな」で自ら考え表現する力を高める記述式の問題を設定している</li> </ul>
	<p>○学習内容の確実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題が太字で明記されていたり、「◆マーク」で類似した問題を明示したりしてつまずきに対応している</li> <li>節末の「基本の問題」、章末の「章の問題」、巻末の「補充問題」でくり返し練習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「例題」と「問題」の間に「たしかめ」の問題を挿入し、緩やかなステップによりつまずきに対応している</li> <li>本文中の「プラスワン」、節末の「たしかめよう」、章末の「章をふりかえろう」、巻末の「補充問題」でくり返し練習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の「例」でノート形式の模範的な解答の書き方を掲載し、つまずきに対応している</li> <li>節末の「確かめよう」や章末の「まとめの問題」、巻末の「補充問題」でくり返し練習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「例」と「問題」の間に「たしかめ」の問題を挿入し、緩やかなステップによりつまずきに対応している</li> <li>節末の「基本の問題」や章末の「章の問題」、巻末の「補充問題」でくり返し練習できたり、章末の「学習の振り返り」で既習内容を振り返りたりできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の吹き出しで既習事項等を掲載し、つまずきに対応している</li> <li>節末の「練習問題」や章末の「学びを確かめよう」、巻末の「もっと練習しよう」や「力をつけよう」でくり返し練習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例と問いの間にギャップが出ないようつまずきに対応している</li> <li>節末の「確認問題」や章末の「問題」、巻末の「力をつけよう」でくり返し練習できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の「確かめ」で既習事項を掲載し、つまずきに対応している</li> <li>本文中の「チャレンジ」や節末の「基本の問題」、章末の「章の問題」や「とりくんでみよう」、巻末の「補充問題」でくり返し練習できる</li> </ul>